

第76回環境審議会における意見と対応

参考資料1

項目	意見	対応
全体	市民に分かりやすく具体的にイメージできるようにしてほしい。また、市民が何をしたら（取り組んだらよいか）がわかるようにしてほしい。	コラム等を活用し、市民が具体的に暮らしのなかで取り組めることや他の自治体などの事例を紹介し、市民が取組をイメージしやすい計画となるように工夫しました。 (例) 脱炭素社会の暮らしのメリット (p22) 削減目標の達成に向けて暮らしで取り組めること (p31) 5章コラム
	施策のイメージをつかみやすくするために、企業や他の自治体の具体例を紹介するとよいのではないか。忙しい市民でもぱっと見てイメージをつかんだり、こういうことに協力したらいいんだなと自分ごととして理解しやすくなる。	
	行動変容してもらうために、どういう施策、働きかけをしていくのかという点を計画で示すと実効性が出てくる。市民や事業者がこの計画を見て、これだけ取り組んだら、これだけCO2が減るということがわかるような記載をもう少し増やしていただくとよい。	
	市民の方に伝わりやすくするために、市民にもできる温暖化対策という項目を設けて、具体的な例を掲載することがよい。	
第3章 将来ビジョン	20 将来ビジョンに関するイラストをこれから作成するとのことであるが、ぜひ明石らしいもの（海や農水産業などを含む）を期待している	明石らしさや上位計画で描く街の姿を参考として、イラストを作成しました。(p20)
	20 上位計画との整合性を図ること。上位計画における内容も踏まえて、将来ビジョンの図をつくれれば、より具体的で市民にわかりやすくなる	
	23 次世代につなぐ(エネルギー) という考え方を文言として入れたい	
第4章 計画の目標	削減の内訳として、エコドライブなどの項目はあるが、ハード面の対策が多い。市民や事業者のソフト面の対策もあると思うので、削減の内訳として明示してはどうか。	クールビズやウォームビズなどの脱炭素ライフスタイルの改善による削減を項目として表に追加しました。(p30)
	30~31 削減の内訳をみると、家庭部門の削減量が多い。削減の対策としてハード面はいろいろ記載されている一方で、市民に身近に響くような表現がエコドライブやごみの削減くらいしかない。市民が日々暮らしの中で取り組むことも削減には不可欠と思うので、市民に身近に響くような表現・文言を入れてもらえたらと思う。	削減目標の達成に向けて、市民が取り組めることを説明する項目を設けました。すべての世帯、2030年までに新築の世帯、リフォームをする世帯など、世帯別に取り組めることをCO2削減量や節約額などと合わせて表記し、わかりやすくなるよう工夫しました。(p31)
	行動変容してもらうために、どういう施策、働きかけをしていくのかという点を計画で示すと実効性が出てくる。市民や事業者がこの計画を見て、これだけ取り組んだら、これだけCO2が減るということがわかるような記載をもう少し増やしていただくとよい。	
第5章 緩和策	49 次世代自動車に関する記述がいろいろなところに出てくるが、特に電気自動車は、使う電気をどうやってつくるかという観点も大事なので、留意してもらいたい	国が推進するゼロカーボンドライブ（電気自動車の充電に再生エネルギーを使う）について、本市の具体的な施策の1つとして追加しました。(p49)
	52 戦略4の資源循環に関する施策について、生ごみの水切り推進・堆肥化、啓発という記載になっているが、取り組みが個人任せのように感じる。自治体として資源循環させる仕組みづくりを検討できないか。例えば、ごみの分別は、福岡県大木町などでは生ごみの堆肥化を自治体が行っているところもある。分別の一つをとっても、自治体が積極的に関わっていただきたい。	市民のみなさまに理解し取り組んでいただけるよう、啓発していくことが行政の取り組みとして重要と考えています。その他の手法については、引き続き検討いたします。
	53 例えば、明石では空き地が多くなってきていると感じる。また、防災ポケット公園の整備が進んでいる。両者をうまく結びあわせて緑地を増やす。明石の里山・河川・海岸性をコリドーという形で結んで、ウォーキング路にすれば、緑地の整備にもつながる。上位計画との整合を図り、具体策を表に出すと市民がイメージしやすくなる。	緑の基本計画に基づく具体的な取組について記載しました。(p53)
	56 再生可能エネルギーについては、固定価格買取制度の買取期間が終了したいわゆる卒FITの電気を市が買い取ることにより、市の温室効果ガス削減をさらに見込むことも可能になるので、検討いただけたらと思う	卒FIT電力の活用については、電力事業者等との連携が効果的であると考えられますので、地域事業者と連携したエネルギー地産地消事業の推進において、例示として、市域の卒FIT電力の活用という表現を追加しました。(p56)
第7章 推進体制	70 推進体制については、例えば、特定のテーマについて、いろんな立場の方が集まって、専門家の話を聞きながら、自分のところはどういうことができるのか、こういうことで困っているというような議論ができるプラットフォームのようなものをつくってほしい。	推進体制の市の役割において、テーマに応じて、地域の多様な主体が参画する場をセットすることとしております。